

平成19年10月25日

阪神電気鉄道株式会社

阪神電車 芦屋駅のバリアフリー化工事に10月27日着手

阪神電気鉄道株式会社（本社：大阪市福島区、社長：坂井信也）では、10月27日から、芦屋駅（芦屋市公光町11-10）のバリアフリー化工事に着手します。

この工事では、高齢の方や障害をお持ちの方などのバリアフリー対策と、駅施設のサービス向上を目的に、東側改札と上下線プラットホームを結ぶ、エレベーター2基（上・下線各1基）を、更に、上りプラットホームに多機能トイレを新設するもので、同駅をご利用されるお客様の利便性が向上します。

工事の完成は、平成20年3月末の予定です。

なお、今回の総事業費は、約2億1,700万円です。

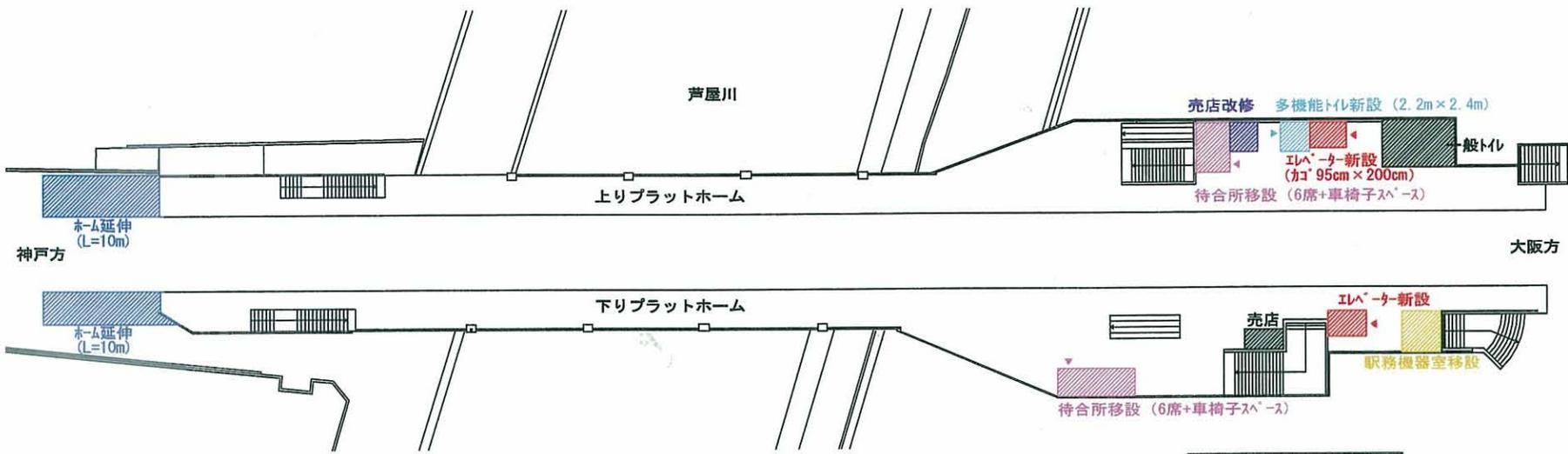
当社は、今後もより安全・便利で快適な輸送サービスの提供を目指し、駅施設等の改良を進めていく予定です。

以 上

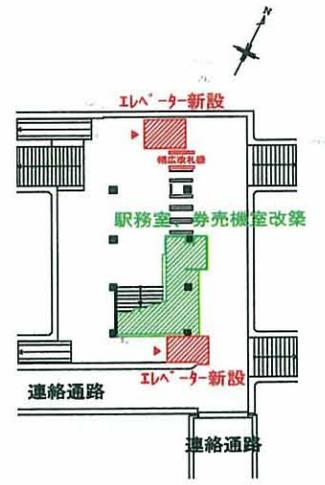
〈参考〉

※芦屋駅の1日の乗降客数

平成18年 — 約2万5,000人/日（平成18年11月、1日平均）



ホーム階平面図



コンコース階平面図